

No.	報告書 (章)	資料	委員	ページ	指摘	対応結果
1	第4章	資料5-1、5-2	藤井	3(5-1)、2(5-2)	有用二枚貝の減少について、人間の経済活動としての漁業による取上げの影響も減少の要因となり得るのではないかと。資料5-1の39ページに過剰な漁獲圧という言葉もあるので、連関図の中に漁業活動の影響というのを入れるのはどうか。	「漁獲圧」については、平成18年度委員会報告で原因・要因の1つとして連関図で掲載されているが、平成28年度委員会報告では、各水産資源における資源管理の進捗状況を踏まえ、「漁獲圧」の記載を落とした経緯があることから、今回記載していない。連関図への再掲については、有明海・八代海等における「漁獲圧」に関する新たな文献等があれば追加を検討したい。
2	第4章	資料5-1	清本	6他	影響の整理表について、影響が小さいという表現について、影響を無視できるという意味ではないと思うので、表現を検討いただきたい。	影響の大小の表現については誤解を生じる可能性が考えられることから修正した。
3	第4章	資料5-1	林	6他	連関図は有明海・八代海で分かれているが、サブ連関図については、減少に関連する項目として両方の海域を含めて書いた図ということでよい。	ご指摘についてはアサリが該当すると思うが、アサリは両海域を含めたサブ連関図を掲載しており、海域ごとの原因・要因の知見は要因整理表で表現している
4	第4章	資料5-1	山口啓	8	クラスター解析の結果について2つの水域のみ書いている。他の海域については記載しないか。	すべての海域でのクラスター解析の結果を記載した上で、ベントスの変動と底質の変動に係る性がみられる海域・時期に着目して原因・要因を考察した。
5	第4章	資料5-1	藤井	26	タイラギに関する要因整理表の中でA1海域が取り扱われていないのが気になった。体系化された記載がないので、丁寧な記述があっても良いのではないかと。	要因整理表では、平成28年度委員会報告において「個別海域ごとの再生方策」として挙げられた海域について計上し、それ以外の海域は「他の海域等」としてまとめて記載していたが、ご指摘を踏まえて、A1海域などそれ以外の海域についても可能な限り欄を追加して記載することとした。
6	第4章	資料5-1、5-2	藤井	30(5-1)、8(5-2)	資料5-4の9ページ(第3章本編)で、タイラギの生息数が既に大きく減っているところ、イシガニ・タコの食害の影響というのは乱暴に感じる。また、資料5-1の30ページに説明があるが、整合性をとる必要があるのではないかと。	ご指摘のとおり、集中的な食害を受けた結果を過大評価している可能性があり、影響が大きいと記載することは誤解が生じる可能性が考えられることから、影響の大小の表現を修正した。

No.	報告書 (章)	資料	委員	ページ	指摘	対応結果
7	第4章	資料5-1	藤井	40	文中には漁獲量低迷の要因として過剰な漁獲圧と記載されているが、アサリ関係のサブ連関図には反映されていないので、修正が必要でないか。	No.1と同じ意見
8	第4章	資料5-1	藤井	51	ノリの色落ちが発生する状況は、その海域で植物プランクトンが増殖していることによるものと考えられるが、その様な状況下で施肥剤が使用されると植物プランクトンに利用吸収されてしまうため、施肥剤が適正に使用されている状況が本当にあるのかと思われるところ、記載について慎重な検討が必要と思う。	ご指摘を踏まえて、本報告書でも記載されているとおり、引き続き負荷された有機酸や栄養塩の挙動については知見の集積を努めてまいりたい。
9	第4章	資料5-1	東	95	気候変動の予測結果について、論文の方で記述誤りがあったので「20%減少→20%増加」と訂正いただきたい。	指摘のとおり修正した。
10	第3章、 第4章	資料5-1	東	100(第 4章)	気候変動の影響について影響評価とシミュレーションには将来予測は分かれているか。実態把握と予測は分けるべきでないかと考えているが、文章では分けられないという理解で良いか。	3.6.5の貧酸素では、気温上昇による貧酸素水塊への影響の将来予測結果を記載しており、ご指摘を踏まえて、第4章の気候変動に移動した。